

地域住民との連携による農空間保全

ひねの

日根野地区農空間保全協議会（泉佐野市）

- 本地区は水資源に恵まれ、良質な農作物を生産してきたが、農業用施設の老朽化が進み、また後継者不足等担い手の減少による負担の増大によって、継続的な活動に支障が生じていた。
- 平成27年度に日根野地区農空間保全協議会を設立し、地域住民と連携した地域資源の保全管理に取り組んでいる。

資源向上取組地区

【地区概要】

取組面積	72.08ha [田72.08ha 畑0.00ha]
農業用施設	開水路9.8km 農道 6.7km ため池 12箇所
主な構成員	土地改良区、自治会
交付金	2,162千円（農地維持） 2,000千円（資源向上）

活動開始前の状況や課題

- 地元農家による営農が行われていたが、一部で遊休農地が発生したり、後継者の不足、担い手の減少等、今後の持続的な農地・農業用施設の管理が課題
- 農業用施設の不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題



取組内容

- ため池や水路の草刈り、水路浚渫など交付金を活用して実施し、農地や施設の維持管理を行っている。
- 農道補修等を交付金を活用して実施し、施設の長寿命化を図っている。
- コスモスを植栽し、地地域住民との交流や遊休農地の発生防止活動に取り組んでいる。



取組の効果

- 土地改良区が中心となって各集落の状況を集約し、きめ細やかな施設の軽微な補修に取り組むことにより、計画的に農業用施設の保全管理を実施。
- コスモスの植栽を通じた地域交流・農村環境保全活動にも取り組み、地域ぐるみの農空間保全が図られている。

